

令和7年度 第5回逢妻地域会議 会議録

■日 時 令和7年9月24日（水） 午後6時30分～8時00分

■場 所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

<委 員>	都築 幸雄（会長）	岡部 千治（副会長）	加納 勝彦
	岡田 一	竹原田 力	杉浦 正司
	松崎 康則	松下 正治	西 澄弘
	岩内 輝義	今村 典夫	千葉 洋
	原田 裕美	天野 正男	柿本 敏光
	鈴木 仁		
<欠席者>	原田 朋美		
<市 長>	太田 稔彦		
<事務局>	青木 勉（地域活躍部 部長）	杉浦 智文（地域交流課 課長）	
	塚田 征弘（地域交流課 副課長）	前田 浩貴（地域交流課 担当長）	
	深見 洋成（地域交流課 書記）		
<関係課>	尾形 洋（防災対策課 課長）	中越 瑞紀（防災対策課 担当長）	

■次 第

- 1 会長あいさつ
- 2 市長あいさつ
- 3 提言
 - (1) 提言書の授与
 - (2) 提言書の説明
 - (3) 質疑応答及び意見交換

■議 事（要約）

- 3 提言
 - (2) 提言書の説明
- 都築会長から提言の説明を行った。
- (3) 質疑応答及び意見交換

委員：小清水、美山小学校区は豊田市の中でも人口が多い地域である。若い世代より高齢者が多くなると予想するが、高齢化が進んだ地区の避難イメージを考えているか。

市長：自治区、民生委員への避難行動要支援者の名簿の提供を徹底したいと思うが、個人情報保護の観点があるため難しい。いざというときに、行政や誰かに頼るだけの地域社会づくりではなく、みんなで動ける地域社会づくりが必要だと感じている。悲観的に高齢者社会を考えるのではなく楽しく幸せに考えることも一つなのかもしれない。

委員：新設された公園には井戸があるが深田山の公園はない。水に困らない自主避難所の整備を行ってほしい。非常時の食料品の確保のために地域の大型スーパーとコン

ビニとの提携を支援してほしい。

市長：非常時の給水対応は給水車などの対応を考えている。井戸については水質を考慮し、担当課と協議しながら考えていく。豊田市は様々な店舗と災害時の協定を結んでおり、各自治区でも協定を結んで協議を行うこともいいのではないか。豊田市はM E G A ドン・キホーテとの協定により、能登半島地震が起きた際に必要備品を集めてもらうことができ、速やかに出動することができた。

委員：今年度も大雨で逢妻女川の水位が氾濫水位近くまで迫った。国道 155 号バイパス近くの旧道の橋梁の下は格子状になっていてとても狭い。洪水が起きると一気に氾濫が起きやすくなる。逢妻女川の改修とともに、貯水池利用も検討してほしい。

市長：現在、県に逢妻女川の改修を要望しており、川下からの改修が行われている。最大限の被害想定をした工事は行っておらず、被害を最小限に抑える十分な工事をすぐに行うのは難しい。毎年、何度も河川の改修を県に要望している。

＜行政に求める支援に対する回答＞

市長：提言書に記載されている資機材の貸出や防災士の資格取得等の支援については、既に支援制度があり、業者の紹介や出前講座への職員派遣も実施している。すでに市が取り組んでいることについて整理し、情報提供します。

●令和 7 年度 第 6 回逢妻地域会議

日時：令和 7 年 10 月 15 日（水）午後 6 時 30 分～

場所：逢妻交流館多目的ホール